

レクリエーションの進め方

1. 準備

- ① ユニットごとの場所作り
- ② 利用者への説明・誘導

2. 導入

- ① 音楽など BGM をかけるなど落ち着いた雰囲気全員がそろそろまで雑談などしながら待つ
- ② 挨拶
 - ・ 仰々しいものでなく、自然な流れの中で…メリハリをつける意味でも重要
- ③ プログラムの説明
 - ・ 「(プログラム名)の時間です。」
 - ・ 「この日の予定:○○○をして、○時ごろまで行います。」
 - ・ 「途中で気分が悪くなったり、トイレに行きたかったり、またよくわからなかったり何でも気軽に尋ねてください。」

3. 展開

- ① プログラムの説明
 - ・ 利用者の表情を見ながらきちんと理解ができているかを確認する。
- ② 利用者の行動、発言、他メンバーとの相互関係を観察
- ③ 目標に即した援助
- ④ 不安そうにしている利用者に対する対応
 - ・ 理解できているか？ → わかりやすく説明
 - ・ 活動に取り組んでいるか？ → 障害に対する工夫が必要？
- ⑤ プログラム遂行に気をとられ、本来の目的が失われないように
- ⑥ 黙々と活動するのではなく、一人一人との会話を楽しみ、「楽しいと感じられる時間」を演出する。
- ⑦ 普段の集団レクでは見られない利用者の側面を発見しようとする姿勢。

4. まとめ

- ① 今日の感想を尋ねてみる。
 - ・ 難しかったところ
 - ・ おもしろかったところ
 - ・ 工夫しなければならないところ
- ② 次回の予定
- ③ 終了の挨拶